患者様用

帯状疱疹の治療を受けられる患者さまへ

患者氏名：　　様　　受持医：　　受持看護師：

月日（日時）	／	／ ～ ／	／ ～ ／	／
経過（病日等）	入院日	2～4日目	5～6日目	9日目
達成目標	◆入院の必要性を、患者及び保護者が理解し、同意する ◆退院基準を理解し同意する ◆疼痛がコントロールできる ◆治療方針が決定する	◆疼痛がコントロールできる ◆アシクロビルによる合併症（肝機能障害・精神症状）を起こさない	◆水疱・血疱が軽減する ◆疼痛がコントロールできる ◆腎機能の悪化がない 	【退院基準 】 ◆皮疹が消退傾向にある ◆疼痛がコントロールできる ◆外来治療に移行できる ◆内服・軟膏塗布の方法が理解でき、自己管理ができるようになる
治療・薬剤（点滴・内服）	入院後、点滴を行います 痛み止めの薬を内服します	1日3回朝・昼・夜に点滴を行います 痛み止めの薬を内服します		点滴は9日目で終了します 痛み止めの薬を内服します
処置	シャワー浴後に軟膏を塗ります	朝体をふいた後と、夕方シャワー浴後に軟膏を塗ります		
検査		5日目に血液検査を行います		
活動 安静度	病棟内は制限ありません			
食事	通常の食事ができます 必要時は治療食となります			
清潔	朝は体ふき、夕方はシャワー浴を行います 感染防止のため手洗いを徹底してください			
排泄	制限ありません			
患者様及びご家族への説明 生活指導 栄養指導 服薬指導	受持医が入院治療計画について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 薬剤師が薬について説明いたします 入院費に関するご心配がありましたら、お早めに医療福祉相談室にご相談ください		退院前日に、受持医と看護師が退院後の生活の注意点について説明いたします 	退院おめでとうございます

注1：病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2：入院期間については現時点で予想される期間です。

国立病院機構熊本医療センター　皮膚科　2010年8月改訂